

古事類苑

地部四十八

池汀溝併入

池ハ、イケト云フ、湖沼ノ小ナルモノナレドモ、我國ニテハ、主トシテ人工ヲ加ヘテ畜水ノ用ニ供スルモノヲ謂ヘリ、

汀ハ、ミギハト云フ、水際ヲ謂ヘリ、溝ハ、ミヅト云フ、地ヲ穿チテ水ヲ通ズルモノナリ、

池溝ノ事ハ、尙ホ政治部水利篇、灌漑篇等ニ關聯スル所アレバ、宜シク參照スベシ、

名稱

〔倭名類聚抄河海〕池 玉篇云、池直離反、畜水也、以和介名

〔箋注倭名類聚抄水土〕今本玉篇除知切、按直離除知、字異音同、契冲曰、伊介、令生也、謂養魚於其中

也、插花於瓶中、埋菓於土中、皆呼伊介流、並同語、略中 原書水部、畜水作滄水、按尙書泰誓、孔傳、停水

曰池、後漢書班彪傳注同、廣韻亦依此、又禮記月令、毋漉陂池、注、畜水曰陂、穿池通水曰池、淮南子說

林訓注、國語周語注、漢書高帝紀注、皆云、畜水曰陂、無以畜水訓池者、蓋畜水曰陂者、言其外障、停水

曰池者、言所畜水之處、此恐誤、說文陂、一曰池也者、混言耳、

〔八雲御抄地儀〕池 いひといふは、水はなつ所なり、なきさといふ、万葉池のなきさと云り、い

そと云、万池白浪いそによせくといへり、

〔和漢三才圖會五十七〕池沼 池、音馳、和名以介、沼、音昭、和名奴萬、

穿地鍾水者也、其圓曰池、曲曰沼、黃帝內傳云、帝既煞蚩尤、昇爲天子、因之澹池沼、蓋池沼之起始於此、